

〈東文研・ASNET共催セミナー〉

原発災害被災地の帰村と現実 生活組織の分析から

*Returning to Hometowns Affected by the Nuclear Disaster and it's Reality:
Results of Analyzing Living Organizations*

本報告では、原発災害被災地のなかで、いち早く帰村した川内村を事例としてとりあげる。帰村を決断した住民たちの聞き取り調査から、汚染による健康リスクを抱えながらも、何故に帰村しようとするのかを明らかにすることを目的とする。復興のモデルケースとみられている川内村の現状と課題とを指摘してゆくことになる。



(警戒区域内に指定されていた川内村、西巻裕氏提供)

- ◆ 日 時 : 2016年1月14日(木) 17:00-18:00
- ◆ 報告者 : 金子祥之 (東京大学東洋文化研究所特任研究員)
- ◆ 会 場 : 東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は日本語で行われます。



東京大学
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク
Network for Education and Research on Asia

